

35th  
滋賀県立文化産業交流会館

佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会

# レスピーギ ローマ三部作

光り輝く  
ブラスの響きで  
悠久の都  
栄光のローマへ!

レスピーギ作曲：  
交響詩

ローマの祭り  
ローマの噴水  
ローマの松

※吹奏楽編曲版

／他

# 佐渡×シエナ

## 《ブラスの祭典★2023》

Sado:©Takashi Iijima  
Sienna:©Hikaru,★



2023年 **12月10日** 日 14:00開演 [13:15開場]

**滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール**  
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

チケット発売日 9月9日(土)10:00～(電話受付13:00～)

料金(税込/全席指定) **1階席** 一般 ¥5,000 青少年(24歳以下) ¥2,000  
※6歳以上入場可 **2階席** 一般 ¥2,000 青少年(24歳以下) ¥1,000

### アクセス

- 電車・バスでお越しの方  
JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線「米原駅」西口より徒歩7分
- お車でお越しの方  
北陸自動車道米原インターより約10分、名神高速道路彦根インターより約15分
- 駐車台数360台 ※ご来館は公共交通機関をご利用ください。



### チケット購入・お問合せ

滋賀県立文化産業交流会館

〒521-0016 米原市下多良二丁目137

TEL 0749-52-5111 / FAX 0749-52-5119

<https://www.s-bunsan.jp/>

※月曜休館 ただし月曜日が休日の場合は翌日以降の営業日

### プレイガイド

- ◆滋賀県立文化産業交流会館 (会館窓口およびオンラインチケット)
- ◆びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136(窓口・現金販売のみ/火曜休館)
- ◆ローソン(Lコード:53343) <http://l-tike.com>

主催: 滋賀県立文化産業交流会館  
後援: 滋賀県教育委員会、滋賀県吹奏楽連盟、中部日本吹奏楽連盟滋賀支部、しがぎん経済文化センター  
制作: クリスタル・アーツ



# 佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会 《ブラスの祭典2023》

## レスピーギ【ローマ三部作】

イタリア・ボローニャ出身のオットリーノ・レスピーギ(1879～1936)は、リムスキー＝コルサコフに管弦楽法を学び、更にイタリア古楽を熱心に研究しました。また民謡やキリスト教典礼音楽にも造詣が深く、唯一無二の作曲技法をもつ作曲家です。代表作【ローマ三部作】と呼ばれる《ローマの祭り》、《ローマの噴水》、《ローマの松》では、彼の作曲技術が最大限に発揮され、古代ローマからレスピーギの時代に至るまでの悠久のローマを、壮大な物語絵巻として鮮やかに描き出しています。

【ローマ三部作】は元々オーケストラ作品ですが、管楽器が大活躍しているため、吹奏楽編曲版もオリジナルと遜色ない迫力ある演奏をお楽しみいただけます。ローマの鮮やかな色彩、人々の熱気、ほとばしる水しぶき、勇ましいローマ軍など、きらきら輝くブラスの音色と躍動感あふれるアンサンブルは聴きごたえ抜群!特に《祭り》と《松》では、「バンド」と呼ばれるオーケストラとは別働隊の、舞台外から演奏する金管楽器群が効果的に使われ、客席に降り注ぐ大音量と合わせ、視覚的にも大いに楽しませてくれます。

佐渡×シエナによる白熱の演奏を、どうぞご期待ください!

### 交響詩

#### 『ローマの祭り』

古代ローマ、ロマネスク、ルネサンス、近世、というローマの4つの時代の祝祭を巡り、そこに生きた人たちのリアルな姿を描く。

### 交響詩

#### 『ローマの噴水』

ローマ市内にある4つの噴水をモチーフに、夜明け、朝、真昼、黄昏、という時間の美しい情景が印象的に表現される。

### 交響詩

#### 『ローマの松』

何世紀にもわたるローマの“歴史の証人”となっている松の姿を通じ、古代ローマへの郷愁や幻想、そして栄光を讃美する、壮大な曲。



### 佐渡裕(首席指揮者)

YUTAKA SADO, conductor

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在はオーストリアで110年以上の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団の音楽監督を務め、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、大ヒット作の「ブラスの祭典」シリーズや、シエナと12年ぶりに録音した「バーンズ：交響曲第3番」(2022年6月発売、エイベックス)などがある。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫/新書)などがある。

2023年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団第5代音楽監督に就任。

オフィシャルファンサイト:<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



### シエナ・ウインド・オーケストラ

SIENA WIND ORCHESTRA

1990年に吹奏楽の可能性を追求すべく結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点とし、定期演奏会のほか全国各地での依頼公演や文化庁学校巡回公演等の青少年育成事業への出演、多様なアンサンブルユニットによる公演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。

2002年には首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを行うほか、最近では飯森範親、宮川彬良、青島広志など多彩な指揮者を客演に迎え、幅広いレパートリーを生かした活動を広げている。2017年には狭間美帆をコンポーザー・イン・レジデンスに迎え、吹奏楽作品の普及にも取り組んでいる。2010年10月から東京都文京区および文京シビックホールとの事業提携を皮切りに、各地の大学や自治体との提携を増やしており、地域や教育機関と密着した活動にも積極的に取り組んでいる。CD・DVDも多数リリース。近年ではエイベックスから「佐渡×シエナ バーンズ：交響曲第3番」「ブラスの祭典BEST」、その他各社より「ファイナルファンタジーVII×ブラバン!!」、「ブラバン・ディズニー!～シエナ・スタイル～」など、いずれも大きな話題を呼んでいる。

オフィシャルHP <http://sienawind.com/>